

こっこめ通信 06 2018

「食べ方に個性あり」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

2018年の光るキノコ無料観察会の開催日が決定しました。夏休み期間の7月21日から8月31日までですが、毎週水曜日（7月25日・8月1日・8日・15日・22日・29日）と花火大会（8月11日）はお休みとなりますのでご注意ください。開催されない日も観察地に入って観察することができます。詳しい情報はホームページをご覧ください（右のQRコードからどうぞ）。

さて、今回は「ゴールデンウィークの行事」「食べたのダァ〜レ？」のお話です。

光るキノコ無料観察会



ゴールデンウィークの行事



体験八丈太鼓



八丈富士ハイキング



バードウォッチング入門

ゴールデンウィークは毎年恒例の行事が多く、常連さんの姿もあります。今年は天気は最高！と言いたところでしたが、早朝探鳥会だけは雨が降ってしまいました。急遽、傘を取りに行き、どうにか開催した次第です。他の行事は天候にも恵まれ、参加者の方たちには楽しんでいただけたのではないのでしょうか？ 特に八丈富士は気持ちよさそうでしたね。

開催した「体験八丈太鼓」を少し紹介しましょう！

八丈太鼓は二人一組で叩く両面打ちの太鼓。ひとりがリズム（下拍子）を叩き、それに合わせてもうひとりが自由に叩きます。今年の参加者は数はそれほど多くなかったですが、その分長く叩くことができました。そのため、自分が叩く音の下拍子に合う心地よさを感じた人が多かったです。青空の下太鼓は気持ちよかったですね。体験八丈太鼓は年末年始にも開催しますので、「ぜひ、はたきにおじゃれ！」

行事名	開催日	定員	参加
八丈富士ハイキング	4月29日	20	9
草木染め体験教室	5月3日	10	11
早朝探鳥会	5月4日	20	6
沢の小径探鳥会	5月4日	10	7
海岸で遊ぼう	5月5日	10	2
バードウォッチング入門	5月3～6日	40 (4日間)	23
体験八丈太鼓	4月28～30日 5月3～6日	なし (7日間)	103
		計	161



八丈ビジターセンターのホームページでも、「GW 前半戦終了!」「GW 後半戦終了!」と題してを紹介しています。左右のQRコードからどうぞ！



草木染め体験教室



早朝探鳥会



海岸で遊ぼう

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

食べたのダァ〜レ？

虫に喰われた葉っぱ、よく見かけますね。穴が開いたり、葉が全部無くなったり。いったい誰の仕業？



ガクアジサイ

穴あき系食痕

ガクアジサイを食べているのはヤマトフキバッタの幼虫！小さい時は集団で食べているため、あっという間に穴だらけになってしまいます。ガクアジサイだけではなく、他の葉も食べてしまいます。



ヤマトフキバッタ(幼虫)



オオシマザクラ

葉脈残り系食痕

オオシマザクラを食べていたのはサクラクワガタハバチの幼虫！葉の裏側で身を隠しながら食べます。最初は穴だけですが、最終的には葉脈だけが残るまで食べ続けます。公園では被害が大きいです。



サクラクワガタハバチ(幼虫)



ツツジの仲間

全部食べ系食痕

ツツジを食べているのはルリチュウレンジの幼虫！葉の根元から食べ進み、最終的には主脈だけが残りまゝ。大量発生するとツツジの葉が全く無くなってしまいう程の食欲。可哀想ですがお薬撒きます。



ルリチュウレンジ(幼虫)



オオムラサキシキブ

穴あきから全部系食痕

オオムラサキシキブを食べているのはイチモンジカメノコハムシの幼虫！初めは穴を開けて、その後は外側から食べ進む。背中にある黒いものは、自分の脱皮殻。成虫はテントウムシに見間違える？



イチモンジカメノコハムシ(幼虫)



アカメガシワ

表面がじりり系食痕

アカメガシワを食べているのはサメハダツブノミハムシ！表面をちょっと囓った感じの食べ痕で、一見病気になってしまった葉に見えます。写真を撮ろうと近付くとピョンとノミのように飛びます。



サメハダツブノミハムシ



シチトウエビヅル

かじりながら移動系食痕

シチトウエビヅルを食べているのはハチジョウルリボシカミキリ！葉の表側を囓っては前に進み、囓っては前に進むので線状の食べ痕。食べ進む向きは関係なく、葉脈を横切って進むこともあります。



ハチジョウルリボシカミキリ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月13日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第5回）調査者：沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			35	ナギナタガヤ	花	13	ヒサカキ	若い実
1	アオカモジグサ	実	36	ニワゼキショウ	花	14	ヒメユズリハ	花
2	アオスゲ	実	37	ヌカススキ	実	15	ホウライカズラ	蕾
3	アオノクマタケラン	咲き始め	38	ヌカボ	実	16	モチノキ	実
4	アワゴケ	実	39	ネジバナ sp.	咲き始め	17	ヤブツバキ	実
5	イワニガナ	花	40	ハキダメギク	花	18	ヤブニッケイ	花
6	ウスベニニガナ	花	41	ハナイバナ	花	19	ヤマモモ	若い実
7	ウラボシコグサ	花	42	ハナヌカススキ	花	シダ植物		
8	オオアレチノギク	蕾	43	ハハコグサ	花	1	アマクサシダ	一株だけ
9	オオニワゼキショウ	花	44	ハルジオン	花	2	イシカグマ	
10	オニタビラコ	花	45	ヒナギキョウ	花と実	3	オオイタチシダ	新葉
11	カタバミ	花	46	ヒメコバンソウ	実	4	オオタニワタリ	新葉が展開
12	カニツリグサ	花	47	ヒメジョオン	花	5	スギナ	
13	カモジグサ	実	48	ヒメヨツバムグラ	花と実	6	タチクラマゴケ	
14	キランソウ	花	49	フウトウカズラ	花	7	タチシノブ	
15	クサイ	実	50	ヘビイチゴ	実	8	タマシダ	
16	ケキツネノボタン	花と実	51	マツバウンラン	実	9	ナチシケシダ	紅い新葉
17	コケミズ	花	52	ムラサキカタバミ	花	10	ナチシダ	
18	コケリンドウ	花	53	ヤエムグラ	実	11	ノキシノブ	
19	コナスビ	花	54	ヤマヌカボ	実	12	ハチジョウカナワラビ	
20	コマツヨイグサ	花	55	ヨツバムグラ	花と実	13	ハチジョウシダ	
21	コメツブツメクサ	花	木本			14	ハチジョウベニシダ	
22	コモチマンネングサ	花	1	アカメガシワ	花	15	ヒトツバ	
23	シチトウスミレ	実	2	イヌビワ	実	16	ホシダ	
24	スズメノカタビラ	実	3	エノキ	実	17	ホラシノブ	
25	スズメノヤリ	実	4	オオシマザクラ	実	18	マメツタ	
26	セイヨウタンポポ	花	5	オオムラサキシキブ	蕾	19	ミゾシダ	
27	セリ	花	6	ガクアジサイ	咲き始め	20	ヤマイトチシダ	紅い新葉
28	チガヤ	実	7	クワ sp.	実	21	ワラビ	
29	チチコグサ	花	8	サカキカズラ	花	今回はシダ植物 21 種を含む、95 種の植物を観察しました。昆虫ではテングチョウとルリシジミが多く、野鳥ではアカコッコの姿が一度も見られなかったことが印象に残ります。		
30	ツメクサ	花と実	9	タイミンタチバナ	若い実			
31	トウバナ	花	10	テイカカズラ	花			
32	トキワツクサ	花	11	トベラ	若い実			
33	トキワハゼ	花	12	ハゼノキ	花			
34	ドクダミ	花盛り						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内でも見られる「ホウライショウ（モンステラ）」にスポットを当ててみたいと思います。



ホウライショウ（モンステラ）

Monstera deliciosa

サトイモ科ホウライショウ属の園芸植物。原産はメキシコや中央アメリカ。八丈島では園芸植物として栽培し、野外でも育ちます。

花は10月頃から咲き始めます。果実は一年かけ熟し、食べられますがえぐみがあることもあります。葉には切れ目や虫に食べられたような穴があり、形がユニークなことでいろいろなデザインに利用されています。

2018 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれているグラフは、八丈島（神湊）の潮汐のデータです。
満潮・干潮の時刻を表示しています。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5	芒種 6	7	8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18	19	20	夏至 21	22	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「海浜植物観察会」
24 ガイドウォーク	25	26	27	28	29	30 ガイドウォーク

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/10（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八丈学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。海岸を歩きながら植物の観察をします。今年はどんな植物が見つかるか？
6/23（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
底土海岸（当日変更の可能性有り）集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.6.1 第205号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

葉っぱに穴が開いていたり、食べられたりしていれば、誰かの仕業であることはほぼ間違いない。そう思って探すと食べた主が見つかります。今回は少ししか紹介できなかったの、あと何回か紹介ができそうです。種によって食べ方が違って面白いですね。（高）